



第35号
校長 久高利美子

「聴き合い、支え合う 学校づくり まちづくり」
—東江中学校区の教育と7年の関わりから—

十月十五日、東江中校区3校合同のPTA講演会を開催しました。東江中校区の教育に7年間関わってこられた麻布教育研究所長の村瀬公胤先生を講師にお招きし、「聴き合い、支え合う 学校づくり まちづくり—東江中学校区の教育と7年の関わりから—」という演題でお話をいただきました。保護者、地域の皆様に広く呼びかけての開催で、当日は100名ほどの参加がありました。（保護者参加は10名ほどなのでもう少し参加していただきたかったなと思います。）

参加者の感想を紹介します。
○自身の家庭を振り返って考える機会になりました。来てよかったです。
○学校が変わってきたという理由が今日の講演を聞いてよくわかりました。
○村瀬先生ありがとございました。沖縄に名護市にそして東江にご縁があったことに感謝です。先生の東江愛を深く感じました。東江校区に携わった7年間の記録や実践が確実に実績に繋が

ていると確信しました。地域の課題点にもふれ問題提起し、子供達をリスペクトするという姿勢にとても共感しました。有意義な時間でした。
○大人として、親としてこれまでの教え方がよかったのか今一度考えさせられました。

○学校・家庭・地域が子供達のことについて共通理解を図っていくことが大切だと改めて感じました。子供達が家庭・地域・学校でも居心地がい場所、安心できる場所になるよう関わっていけるようにしたいと思います。

○今日のお話で希望という言葉がよく出てきました。コミュニティ・スクールの存在が子供達の様々な希望につながるものになればと思います。共有型しつけを心がけていきたいです。

○聴き取れる受け止められる大人にならなさんと。リスペクト大事です。地域と繋がる↓学校まかせではなく、みんなだね。

○とてもわかりやすくパワーをもらえる講演会でした。名護市の中核である東江に生まれた子供を大切に地域と学校が一緒になって育てていきたい思いが強くなりました。

○東江中学校、不安もありましたが、今日の子供達の様子を見ることができ、とてもうれしくなりました。ありがとうございます。
○地域の関わりについても話してもらえて、コミュニティ・スクールの大切さも実感しました。



村瀬先生からの提案

子どもと大人がともに育つまち

- ・人生の先輩として教える
- ・そのためには、聴き取る、うけとめる
- ・子どもが育つとき、大人も育っている
- ・このまちを託す、たいせつな相手
- ・子どもをリスペクトする
- ・持ち寄る「じんぶん」

(学びの環境としての地域)